

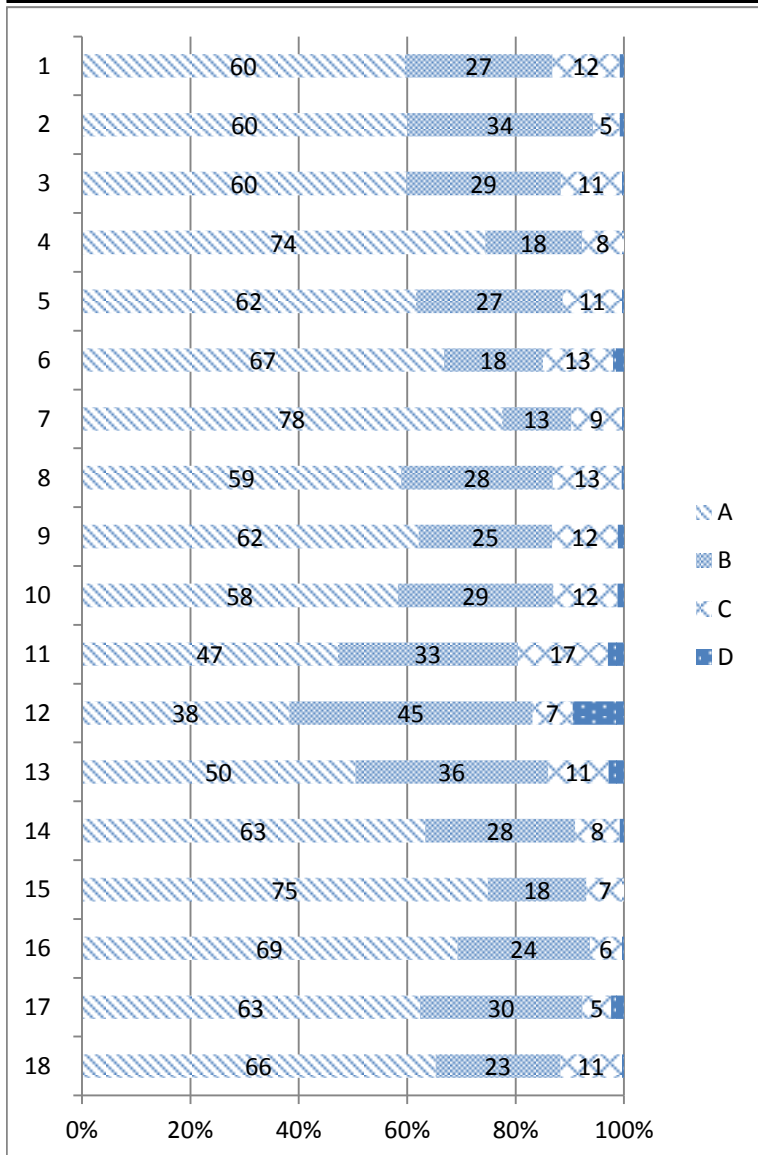
# 平成25年度 本校保護者対象 学校生活満足度アンケート 集計結果

本校をより魅力的な学校にしていけるよう、12月初旬に本校の保護者対象に「学校生活満足度アンケート」を実施しました。本校の教育内容から18項目を選び、各項目について、満足度を次のABCDEの4段階で評価していただきました。

- A (期待通り) 入学前から期待は高く、入学後の満足度も高い
- B (期待以上) 入学前はあまり期待していなかった(よく知らなかった)が、現在は満足している
- C (期待外れ) 入学前は期待していたが、現在の満足度はそれほど高くない
- D (期待せず) 入学前からあまり期待しておらず、現在の満足度も高くない
- E (その他) よく分からない(知らない)ので、答えられない

今回は、事前にお知らせしましたようにEについては、評価の集計から外していますので、ご了承ください。

	A	B	C	D	E %	A+B	C+D
1 子どもたちは、自分らしさに気づき、伸ばしていくことに喜びを感じている。	60	27	12	1		87	13
2 「生と死の教育」は、子どもたちの人間教育に役立っている。	60	34	5	1		94	6
3 子どもたちは、目に見えないものにも価値を認め、それらを大切にすることができる。	60	29	11	0		89	11
4 先生は、子どもに分かりやすい授業をしようと工夫している。	74	18	8	0		92	8
5 基礎学習や発展・選択学習などの取り組みは効果的である。	62	27	11	0		89	11
6 本校の英語教育(国際コースの方は、国際コースの指導)は英語力の育成に効果的である。	67	18	13	2		85	15
7 学校は雰囲気がよく、子どもたちは生き生きと楽しく生活している。	78	13	9	0		91	9
8 学校は、いじめなどがないように取り組んでいる。	59	28	13	0		87	13
9 子どもたちは、学級や学校で好ましい友達関係を持っている。	62	25	12	1		87	13
10 子どもたちは、周りの人のために役立つことが自然にできている。	58	29	12	1		87	13
11 保護者は、広い心で相手の立場を理解しようとしている。	47	33	17	3		80	20
12 毎週水曜の業間体育や水泳・陸上の練習(高学年)など必要な体力作りに取り組んでいる。	38	45	7	9		84	16
13 子どもたちは、苦しいことやいやなことにも、がまんや挑戦ができています。	50	36	11	3		86	14
14 学校は、子どもたちが自分の責任を果たせるように適切な指導を行っている。	63	28	8	1		91	9
15 学校は、教育方針や教育内容を分かりやすく伝えている。	75	18	7	0		93	7
16 ホームページや新聞、学年便りなどは充実し、適切に情報提供をしている。	69	24	6	0		94	6
17 学校は、保護者のための講座や行事を工夫して実施している。	63	30	5	2		93	7
18 学校で学んだことでわが子の言動が望ましくなっていると感じることもある。	66	23	11	0		89	11



## アンケートからの考察

今年度はEを対象から外しましたので、A+Bが多くなればC+Dが減るといように分かりやすくなりました。また、今回は改善に向けて取り組んできたことへの評価を多く入れたためか、C+Dが20%を超えたものはほとんどありませんでした。

13の我慢強さが足りないというのは、便利さを追求し「待つ」ことを嫌う現代社会の課題でもあると思います。我慢強さは体力作りにも必要です。体を動かすことを好まない子供たちに対しても、根気強く励まし取り組んできました。体力作りの項目に、今までよりもさらに「期待以上」の評価をいただけたのはうれしいことでした。また、保護者会のご援助で、タイヤ跳びなどの施設を充実していただいたことも感謝です。体育の授業や休み時間の活動の中に、もっと自然に組み込んでいくような体力作りを今後工夫していこうと教職員で話し合いました。

C+Dの項目が比較的大きくて残念に思ったのは、英語教育についてです。授業態度など具体的な指摘もありましたが、文科省が英語教育の改革に力を入れてきている中で、先を進んでいる本校としては、さらなる進歩を期待されているのだと思っています。

今回、CやDに対して具体的に補足をさせていただいたところ、様々なご意見をいただきました。

11の保護者についてが最も評価が低くなっていますが、もっとお互いに理解し合えるはずだという期待の大きさとともに、登下校の自家用車送迎マナーの問題が多くの方から指摘されていました。

さらに運動面を充実させてほしいという方もあれば、学力を重視してほしい方もあり、様々な両論がある中で、学校としてどう進んでいくかが大切だと感じています。私学には学校の方針に賛同した人が入学してきているので、保護者の意見に左右されない方がいいというご意見もありましたが、目の前の子どもたちの幸せと学校の存続のために、今後も保護者の皆さまの声に耳を傾け対話していくことは大切だと受け止めています。